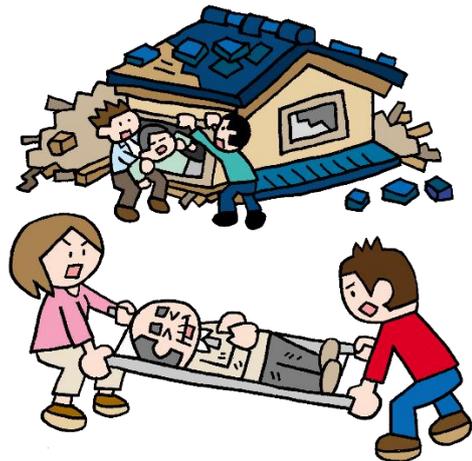
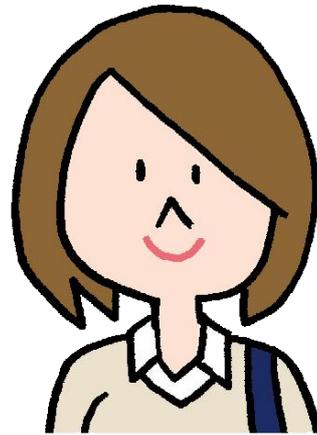
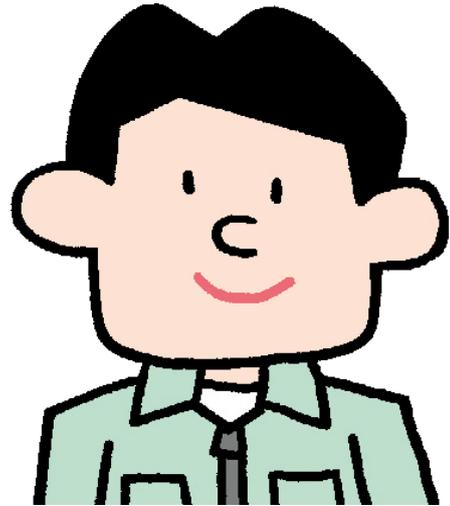
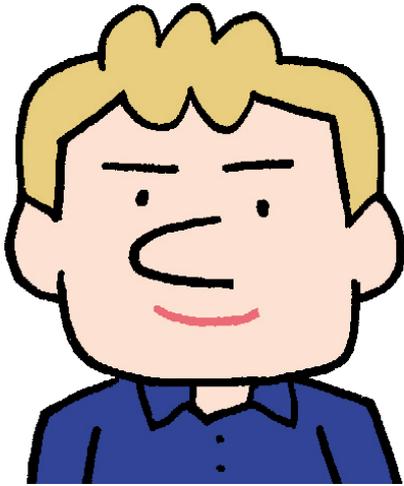




# 防災の手引き



**火災・地震・風水害・津波などの災害に備えて**

# 災害の写真



火災



津波



地震



風水害

**日本は、災害の多い国です。**



正しく知って、行動しましょう。

**「自分の身は、自分で守る！」**

# ■ 火災予防のポイント

## コンロ

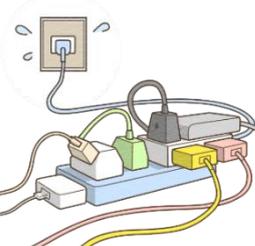
- 調理中は、コンロからはなれないこと。
- ガスコンロを使ったあとは、元栓をしめること。
- 消火器などで消火すること。

油に水をかけると、危険	その場を離れると、危険
 	 

## 電気機器

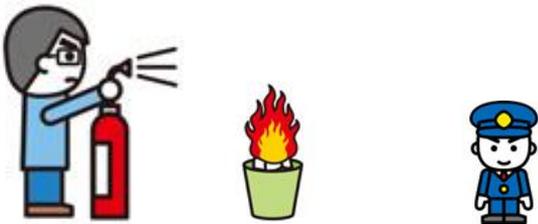
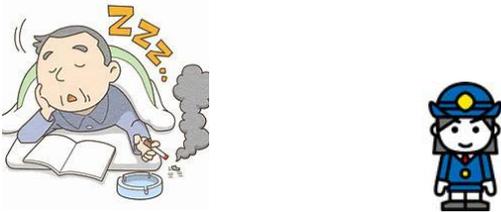
- タコ足配線をしないこと。
- 配線やコードがひっぱられたり、折れたり、踏まれた状態で使用しないこと。
- 配線やコードを束ねて使用しないこと。

発熱して出火する可能性があります。

たこ足配線は、危険	踏まれた状態は、危険
 	 

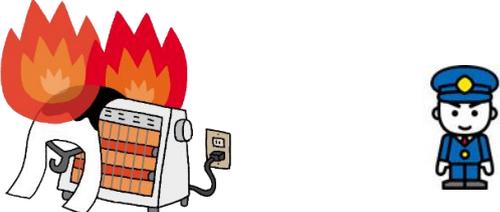
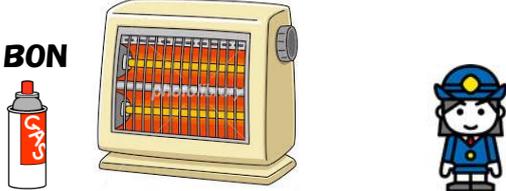
## たばこ

- 吸い終わったたばこは、ごみ箱に捨てないこと。
- ふとんや寝具など燃えやすいものの近くで、たばこを吸わないこと。
- 家の外にたばこを捨てないこと。
- 寝たばこは、しないこと。

ごみ箱に捨てると、危険	寝たばこは、危険
	

## ストーブ

- ストーブの近くで洗たく物などを干さないこと。
- 燃えやすいものから離す、周囲に燃えやすいものを置かないこと。
- 寝るとき・出かけるときは必ず電源を切ること。
- ストーブの近くにスプレー缶などを置かないこと。

燃えやすいものを置くと、危険	スプレー缶を置くと、危険
	

## ■ 火事と救急には、「119」をフッシュ



日本語が話せなくても大丈夫です。

広島県内では、119番通報すると通訳の方を介して内容を伝えることができます。(多言語通訳サービス)

少し時間がかかりますが落ち着いて話してください。

対応言語(18ヶ国)

英語、中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、マレー語、ネパール語、タガログ語、ミャンマー語、クメール語、ポルトガル語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語、モンゴル語

119番オペレータ	あなた
消防です。火事ですか？救急ですか？	火事です。又は救急です。
住所はどこですか？	来てほしい場所の住所と名前を伝えます。
近くに何か目標がありますか？	目標となる建物や交差点などを伝えます。
【火事の場合】 何が燃えていますか？	燃えている場所、物を伝えます。
【救急の場合】 けが人の状態は？	けが人の状況を伝えます。

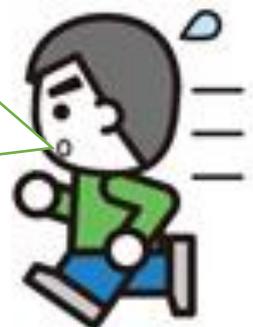
### ポイント

火事を見つけたら

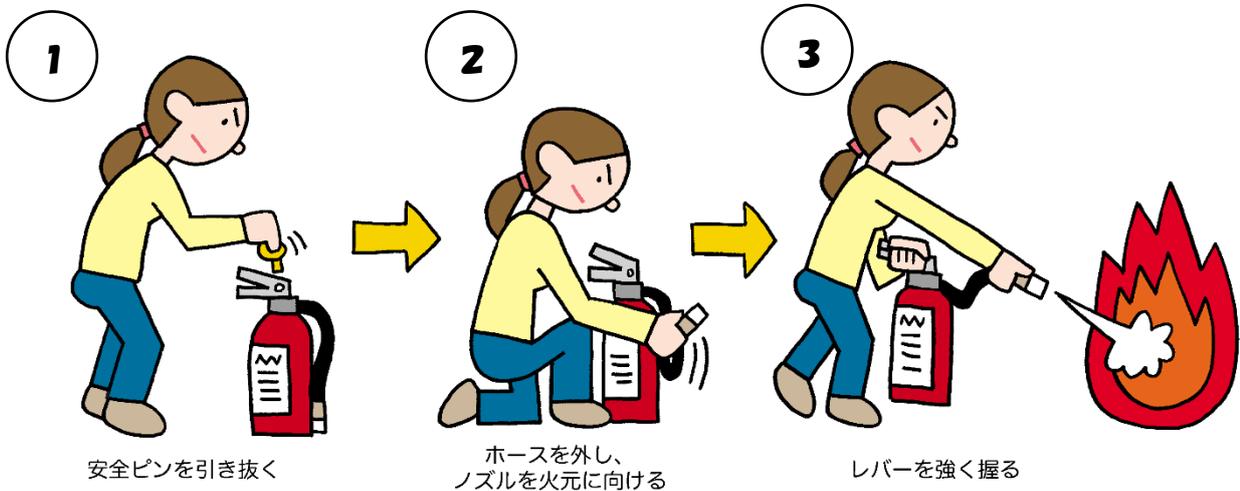
とにかく大声で周りの人に

知らせる。

火事だ！  
火事だ！



## ■ 消火器を使った初期消火方法



① 消火器の安全ピンをぬく。

② ホースを火元に向ける。

③ レバーを握る。

④ ホースから消火剤がでます。

炎ではなく、火元（燃えているもの）を狙います。

## ポイント

天井まで炎が達したら消火はあきらめて避難しましょう。

## ■ 煙に注意して避難しましょう。



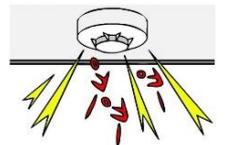
### ポイント

- 煙を吸わないように、体勢を低くして、くちや鼻にハンカチやタオル等をあてて避難する。
- 煙は、有毒です。
- 避難したら、戻らない。

### 店舗、飲食店、映画館、集会所などで警報音が鳴ったとき

### ポイント

- 避難の際は、エレベーターは、使用しないこと。



NG



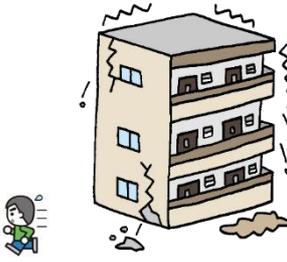


上のマークは、火災が発生した時に使用するものです。  
このマークの方向に落ち着いて避難しましょう。

## ■ 突然地面がグラグラとゆれる“地震”

### ポイント

- その場で自分の身を守る。
- あわてて建物の外に飛び出さない。
- 素早く火を始末する。（ガスコンロを切る。）
- 正しい情報を得る。

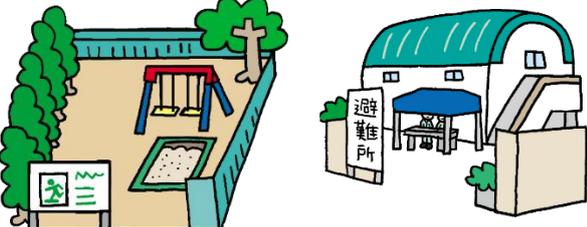
		
身を守る。	あわてて出ない。	ブロック壁から離れる。

- 大地震後には余震が起きることが多くあります。
- 地震の後にデマなどによってパニックが起こることがあるので行政やマスコミなどの正しい情報を得ましょう。

# ■ 風水害に備えて

## ポイント

- テレビ、インターネットで気象情報をチェックする。
- 避難所（逃げるところ）を確認しておくこと。
- 早めに避難する。
- 6月～7月は、梅雨シーズン
- 9月～10月は、台風シーズン

	<p>急に増水する。 河川の近くに行かない。</p>	
	<p>早めに避難する。 避難所を確認しておきましょう。 学校・公民館など</p>	

## 日本での、災害に対する考え方

「自助とは」

自分の身は、自分で守ること。

「共助とは」

周囲の人たちと助け合うこと。

「公助」とは

市役所、消防・警察による救助活動など公的支援のこと。

